

えほんの紹介

『どんぶら どんぶら 七福神』

みき つきみ・ぶん 柳原良平・画 こぐま社

どんぶら どんぶら 海のかなたから宝船に乗って、福のかみさま七福神がやってきました。



ひとつ ひときわ えがおの 恵比寿さま
じまんの つりざお えんやらほ
たいが つれたか こりゃ めでたい

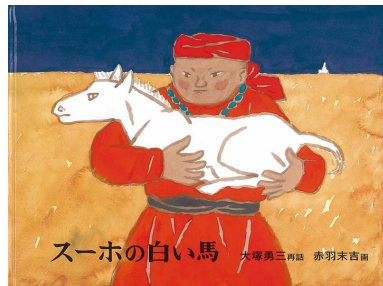
次々と数え歌のリズムで、七福神が紹介されます。どの神さまも笑顔いっぱい、親しみたつぷりで福々しい！そろった七福神はまた朝日に帆かけ宝船に乗って、しあわせを運んで旅立ちます。

『スーホの白い馬』 大塚有三 再話 赤羽末吉 画 福音館書店

モンゴルの馬頭琴という楽器ができたわけを、壮大な絵とともに伝えるお話です。

貧しい羊飼いの少年スーホは、生まれたばかりの白い子馬を見つけると心をこめて育てます。立派にそだった白馬とスーホは競馬に出て一等になりました。ところが、殿さまは約束のほうびをくれるどころか、力づくで白馬を取りあげてしまいました。白馬は逃げ出し、追手の矢をうけながらもスーホの元に帰ってきましたが、息絶えてしまいました。白馬は悲しむスーホの夢に現れて、自分の体を使って楽器を作るよう頼みます……。

広大なモンゴルの草原に響きわたる馬頭琴の音色を聞いてみたくなります。



小さなおともだち “カレーがシチューに？”

今日の読み聞かせの絵本は『カレーライス』です。

以前はカレーが大好きだったNちゃんでしたが、最近はスプーン一杯をお口に持っていったら「オエッ」としてしまうと、ママが嘆いています。

でも、野菜を切るページになると、おもちゃの台所からニンジン、玉ねぎをだしてカット。鍋をIHで加熱し始めたら、なんと、ここで牛乳を入れ始めました。今はシチューがお気に入りとのことで、残念ながらカレーにはなりません。

それにしても、Nちゃんはママがシチューを作っているところをよく見ていますね。



ことばあそび

今年は午(うま)年です。

“うま”ではじまる食べ物づくしのしりとりです。

うま → ま○○ゅ○ → う○ほ○ →
しいた○ → ○ーキ → きの○ →
○コア → ○ずき → ○なこも○ →
ち○○レー○ → ○ンカ○ →
○けも○ → の○ → ○ンゴ →
○ぼう → ○な○ → ○ょ○ざ →
○るぞ○ → ○ナ○ → ○っと○
→ うまい!



季節のわらべうた
うまはとしとし
ないても つよい
うまが つよいから
のりてさんも つよい
パカパカ!

幼い子に人気のおうまさん。この歌です。向かい合って子どもをひざに乗せ、ひざを上下にはずませて遊びます。赤ちゃんの時は背中や後ろ頭に手をそえてゆつくりと、少し大きい子は手を取り合って、リズムを開いて乗り手を落馬させます。

